

## 「文部科学省 × Generative AI Pre-3 - 生成 AI を使ったビジネスアイデアを考えるワークショップ」開催レポート

デジタル技術を活用した高等教育（短期大学及び高等専門学校を含む）の進化を加速するため、文部科学省が 2020 年度に開始した「大学教育のデジタルライゼーション・イニシアティブ（以下、スキーム D）」の 2023 年度 第 3 回目のイベントを開催いたしました。今年度は、先端テクノロジーとの交わりを深めるイベントを、7 月以降複数回開催しており、今回は生成 AI をテーマにワークショップを行いました。

（2023 年度大学教育のデジタルライゼーション・イニシアティブ（スキーム D）事業は文部科学省の委託を受けて、CICTokyo が運営しています。）

The poster features the following elements:

- Logos:** cic tokyo Events, Scheem-D スキーム D, 文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology), and cic tokyo.
- Title:** 文部科学省Scheem-D Generative AI Pre-3 生成AIを使ったビジネスアイデアを考えるワークショップ
- Date and Time:** DATE: 9/1/2023, TIME: 18:00-21:00
- Venue:** VENUE: CIC Tokyo
- QR Code:** More About CIC Tokyo
- Speakers:** Four circular portraits of speakers with their names: 植本 誠 (Uehara Makoto), 山中 穂香子 (Yanagihara Hoko), 三石 輝士 (Mitsui Teruaki), and 長井 悠 (Nagai Yū).
- Additional Text:** 10/14,15開催のアイデアソンは、別途参加エントリー受付中です。

2020 年度より開始したスキーム D では、デジタル技術を活用した高等教育（短期大学及び高等専門学校を含む）の進化を加速するため、デジタル技術の活用に関心のある大学関係者（教員のみならず職員や学生も含む）や、高等教育に活用できる可能性を秘めたデジタル技術・プロダクトをもつ企業（スタートアップ・大企業など）を応援してきました。今年度は、参加者への年間を通じた断続的なサポートを提供してアイデアの発掘や実現に取り組むこととしております。

今回のワークショップは、高等教育と生成 AI というテーマのもと、「課題の特定（問い）を考える」「アイデアを考える」「発表と総評」という 3 段構成でした。当日は 28 名の方々にご参加いただき、講師陣や運営メンバーと共に 3 時間大いに盛り上がりました。

## 【開催概要】

日時：2023年9月1日 18:00-21:00

開催地：CIC Tokyo(東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階)

主催：文部科学省

詳細 URL：<https://scheemd-ai20230901.peatix.com/view>

## 【コーディネーター】

株式会社 N.FIELD 代表取締役 CEO 野中 瑛里子

タクトピア株式会社 創業者・代表取締役・ラーニングデザイナー 長井 悠

## 【講師】

NHN PlayArt 株式会社コーポレートエバンジェリスト 柏木 誠

共創プロデューサー／「タニモク」開発者 三石 原士

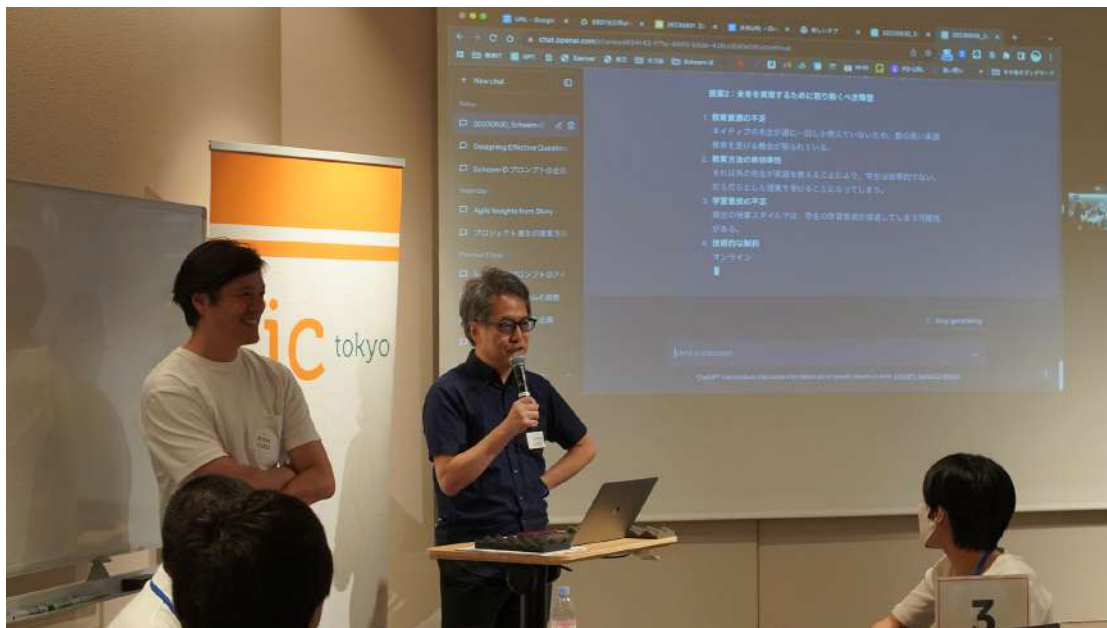


冒頭では、文部科学省高等教育局専門教育課の前田隆司氏から、高等教育のデジタルイノベーションとスキームD事業の目的について説明が行われました。続いて、本ワークショップの運営に携わるメンバーの自己紹介と事前説明を行い、ワークショップへと移りました。



課題の特定（問い）を考えるワークショップでは、個々で「ターゲットユーザー」「解決したい課題」「課題を解決することで実現される未来」を考え、チーム内での共有を行い、チームとして取り組む課題を選定しました。

ご自身やご家族をターゲットとし、原体験をもとに課題を選定される方や、グローバル化の渦中で生まれる教育格差に焦点を当てる方など、十人十色のアイデアでありながら、お互いに共感し合う様子が多く見受けられました。



続いて、講師の柏木誠氏と三石原士氏による ChatGPT の解決策提案プロンプトの実演が行われました。予め選定した課題をプロンプトに入力することで、その解決策を自動で考案してくれるというもので、実際に稼働しているスクリーンを前に参加者から歓声が上がっていました。



そして、解決策アイデアを考えるワークショップでは、実演いただいた ChatGPT のプロンプトを用いながらチーム内で具体的な解決策の思考を行いました。最初は 10 個ほどのアイデアが AI により提示され、その中から共感するものや親和性のあるものを選び、深掘りを行います。最初は素案であったものも、AI との対話を繰り返し、メンバーの具体的な要望、感情、経験、懸念点などを AI にインプットし、発表に向けてアイデアの解像度を高めていきました。

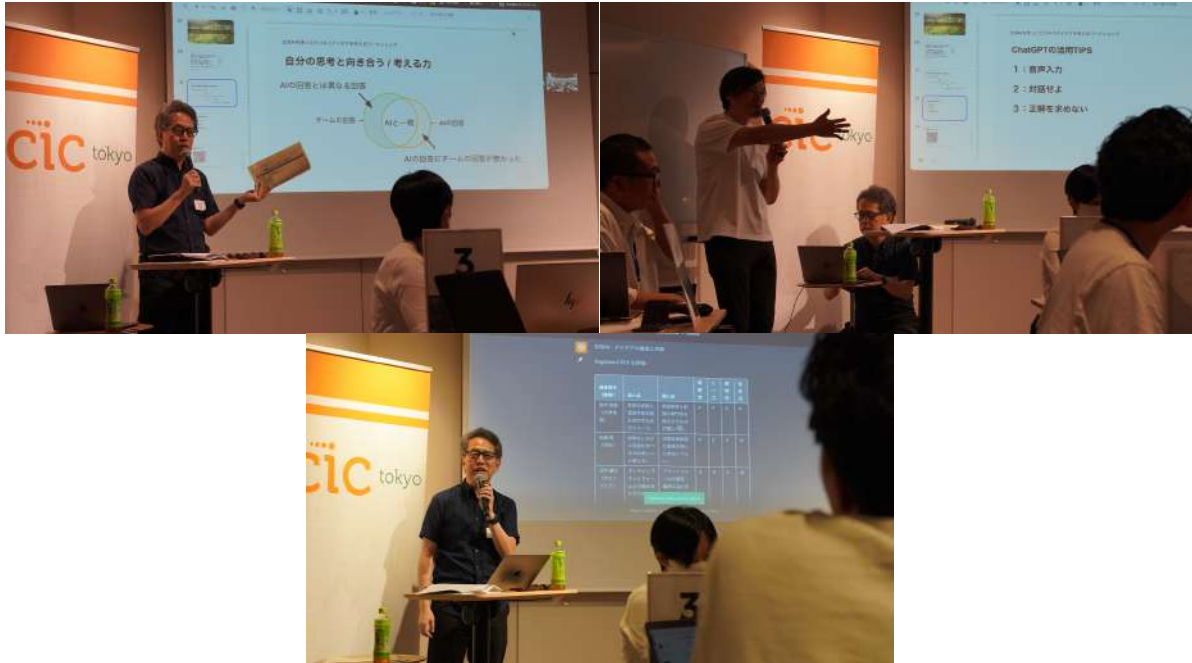


最終発表ではチームごとに検討した内容を説明しました。

- ・他人の目が気になり食堂に居づらい

- ・非英語ネイティブとの会話が困難
- ・専門的な知識や研究成果をわかりやすく共有できない
- ・自分の将来を決める上で、適切な情報を集めることができない
- ・自分の適性や得意不得意がわからず、勉強に身が入らない
- ・理系社会人が社会に求められていない
- ・自己理解が不足していて、大学で学ぶべきことが不明瞭

などといった、教育を取り巻くさまざまな角度からの課題提起がなされ、ChatGPT を用いながらチームで導き出した解決策を紹介しました。



最後に講師の柏木氏からは、ChatGPT で正解を探すのではなく、対話的に用いて、自分の考えや思考との“ズレ”に注目することが大切だと説明をいただきました。また、三石氏からは ChatGPT 活用の際に役に立つ Tips をご紹介いただき、本ワークショップで考えたアイデアを架空の5人が評価するプロンプトもお土産としていただきました。

今後もスキームDでは教育のデジタル化に向けた取組を進めるため高等教育のDXに取り組む方々（教育関係者・大企業・スタートアップなど）のコミュニティの構築と拡大を行って行きます。

スキームD事務局（CIC Tokyo 内）

スキームDウェブサイト：<https://scheemd.mext.go.jp/>